



# リレー投稿 すみれ園と子どもたちの絆

すみれ園親の会会長 小林久美子

横浜市保土ヶ谷区狩場町に平成7年5月1日に社会福祉法人光風会すみれ園が開園され、現在24年目になります。すみれ園の明秀行園長の motto は「障害に負けない・明るく粘り強い子に育てる」です。

明園長は子供一人一人の障害特性を理解され、子供の伸びしろを考えた支援（親・子供共）を心がけてくれています。

昨年からは、職員と親の学習会を開催しました。子供の障害特性（所在不明・自傷・他害・破壊・拘り・生活・進路）別に分かれ、グループとして課題に応じた情報交換をしています。又、職員で日本障害者スポーツ協会公認・上級指導員の資格を持つ山中豪人さまから「体感して学ぶ権利擁護」の講演をして頂きました。すみれ園として最高なイベントを紹介します。

14年前、明園長にとって、



素晴らしい出会いがありました。アンジェラ磨紀バーノンさん（プロサーファー・モデル・パーソナリティ）との出逢い

です。

この方は、ハワイで障害児のためのサーフィン活動をされていましたが、日本での活動は、すみれ園が初めてです。アンジェラさん・Ocean, s Love（障害を持つ子供のためのサーフィ体験）の方々は大自然の力である海を身体と心で感じ癒されて、海からのパワーで子供たちの心を動かす活動を行っています。ボランティアさんも150人以上も集まります。

壮大な海を前に子供達は「水が苦手」「海が・波が怖い」「人が苦手」という子もいますが、不思議と海に入れるようになり、スタッフ・ボラさんの誘導でボードに乗れるようになりました。もう一つの楽しみは、ハワイの食事デザートとすいか割です。

アンジェラさんとOcean, s Loveのスタッフは、園の運動会等他の行事にも関わってくれています。

親も子供達もアンジェラさん・Ocean, s Loveのスタッフの方々に沢山の愛と自然に囲まれて、夢のような時間を過ごしています。



笑顔が溢れる子供たちを見て、親として感動で胸が熱くなり感謝の気持ちで一杯になります。

障害を持つ子供たちを差別なく、分け隔てなく温かい心で接し活動してくれるアンジェラさん・Ocean, s Loveのスタッフに敬意を表すと共に、明園長・三熊部長さんの人脈により、子供達の写真と可能性を引き出してくださることに感謝し、明園長には、「親と子供に寄り添う支援」を今後も継続して頂くことを願っています。

## 障害のある人たちが病気になったとき、ケガをしたときに備えて

神奈川施保連では、知的障害児者や自閉症児者が病気やケガをした時、また、そのために入院した時などに備え、「やまゆり知的障害児者生活サポート協会」の運営に参加しています。

加入資格、その他の詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

一般財団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内  
TEL:045-314-7716 FAX045-324-0426